

## 東京さくら便り～2024年～

山本 雅晴

今年ほど桜の開花予想が大きく外れた年はないのではないかと？ 昨年と同じ3月22日の朝に地下鉄の一日乗車券で急遽でかけた。例年の東京の下記の定点観測ルートを一応確認したが桜の開花は認められなかった。

3月26日～4月2日は関西方面（京都⇒大阪⇒奈良）、4月3日～7日は北陸（敦賀⇒福井⇒三国⇒富山）と12泊13日のさくら探しの旅に出ている。この旅行記は後日簡単に報告する予定。

4月9日の風雨で、今年の東京の桜は見損なったと諦めかけていたが、10日は快晴となったので下記のルートで出かけた。

### 見学場所

・西船橋から東西線で九段下まで行き、① 武道館・北の丸公園 → ② 千鳥ヶ淵緑道・千鳥ヶ淵 → ③ 千鳥ヶ淵に沿った代官町通りを乾門へ → ④ 北詰橋門から皇居東御苑 → ⑤ 大手門を抜け丸ノ内線の大手町から新宿御苑 というルートで約6時間、歩行距離約12kmでかなり疲れた。

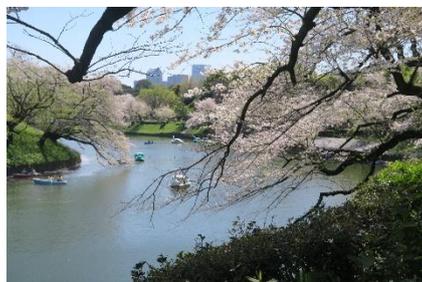
各場所の桜や人出の状況を簡単に記述し、写真を添付します。窮屈な画面ですみません！

- ① 武道館・北の丸公園：ウィーク・デーの10時ごろだが外国人も多く人出はかなり多かった。ソメイヨシノは満開を過ぎ昨日の風雨でやや散ってしまったが、紅しだれや八重桜のイチヨウが綺麗に咲いていた。また、木々の新緑も目立ち桜の白とのコントラストが映えていた。その後、千鳥ヶ淵緑道から対面の千鳥ヶ淵を見下ろす道を歩いた。



1.武道館東の紅しだれ桜 2.清水門近くの吉田茂像とイチヨウ(八重桜) 3.千鳥ヶ淵緑道の対面のポート乗り場

- ② 千鳥ヶ淵～皇居東御苑：ソメイヨシノはやや散り気味だがポート乗り場は長蛇の列をなして並んでいた。



4.靖国神社近くの千鳥ヶ淵 5.英国大使館前の千鳥ヶ淵 6.代官町通りの並木(山桜・陽光は葉桜)



7.皇居東御苑・奏楽堂前の花桃 8.皇居東御苑旧大奥跡広場の染井吉野 9.トキワマンサクの花(尚蔵館前)

⑤新宿御苑：さくらのシーズンにここを訪れるのは9年ぶりである。2時過ぎであったが新宿門は長蛇の列で入場に15分くらいかかった。各国からの外国人が7割くらいはいるように思われた。何故こんなに外国人が多いのか？ 推定するに、スマホによる情報の拡散？ 快晴で各種の桜が咲き誇り、若芽の木々の緑との調和はまさに世界一の庭園といってもよい！ そうだ、新宿御苑の桜の咲くころは、NYのセントラルパーク、ロンドンのハイパーク、パリのリュクサンブール公園やヴェルサイユ宮殿の庭園、ウィーンのベルヴェデーレ宮殿の庭園などよりずっと見映えがする。インスタ映えが世界に拡散し世界から人が押し寄せるのかも？

一応、庭園を一通り見て回った。ソメイヨシノの老木もしっかり花をつけていた。早咲きの八重桜も何種類か開花していた。とりわけ八重桜の“イチヨウ”は気品があるように思われた。小生は“イチヨウ”という名はてっきり、夭折した明治時代の女流作家の樋口一葉をイメージして命名されたものと思っていたが、ウィキペディアで確認したら、全く間違いであった。“イチヨウ”は江戸時代以前からあり新宿御苑に一番多く植えられているらしい。命名のいわれは、花のめしべの1本が葉化して緑色になっているからである。



10. 新宿御苑の入り口



11. 新宿門を突っ越した芝生広場



12. 南西の日本庭園の上池



13. 満開の八重桜“イチヨウ”



14. 八重桜“イチヨウ”のめしべの葉化



15. 東南部の中池付近のしだれ桜やソメイヨシノ



16. 公園中央のソメイヨシノ・ケヤキ・ヒマラヤスギ